

学校改善につなげる学校評価の取組

札幌市立本郷小学校

I はじめに

学校改善に結びついた学校評価の取組

1 本校における学校評価のねらい

本校においては、学校目標「生きて働く学力を身に付け、心豊かなたくましい子」の育成の具現化にあたり、各部、各委員会が設定した重点目標に向かって実践している。その中で、どのような成果や課題があったかを子どもの育ちを通して教職員、保護者、地域に問いながら評価・改善に努めている。そのために本校の子どもたちが「何が育ってきているか」「そのための方策は何か」などを根拠となるデータを収集し、継続的な見取りを行ってきた。

今年度は、実態をとらえた視点を定め、より確かな学校改善につなげる学校評価の構築を目指し、学校目標の具現化を図るとともに、全職員がより主体性を発揮していくことをねらいとしている。

2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

本校では、昨年度の学校評価を受け、検討した結果、以下の通り改善を進めた。

① 日課表の見直し

→授業時数の増加に伴って下校時刻を早めるために、登校時刻を5分繰り上げ、朝の読書活動を週2回から週3回へ

→職員朝会時刻の繰り上げ、及び簡素化（子どもとのふれあい）

② 不審者情報等、緊急時の保護者連絡への対応策（携帯メールの導入）

③ 生活科、総合的な学習の時間の年間指導計画をねらいや学年間のつながり、地域との連携を見直し、テーマや目標・内容を整理する。

II 本校の学校評価システム

自己評価システム

1 自己評価の充実を図る組織体制

本校では、校長の学校経営方針を受け、教育課程を推進する「教育創造プロジェクト」を組織している。自己評価は教職員の間・年度末の2回、児童アンケート、保護者アンケート、児童の生活実態調査、授業参観アンケートを効率的に年間スケジュールの中に取り入れている。教育創造プロジェクトでは、学校としての改善点を整理・調整し、次年度の取組や方向性をまとめている。

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

学校関係者評価委員会の開催は本年度からである。学校説明会への参加をお願いし、第1回目は学校の自己評価書の説明、第2回目は授業見学、行事等への参観、登下校時の様子など子どもの育ちを把握していただきながら、中間評価への意見や評価を伺った。第3回目は評価内容とともに、評価項目への意見等を伺う予定である。

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

期	月	自 己 評 価			学校関係者評価
		学 校	児 童	保護者・地域	学校関係者評価委員
前 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議(学校経営方針) ・学年学級経営案作成 ・学習参観懇談① ・家庭訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査(6年) ・知能テスト(2・5年) ・学力テスト(2年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 総会 学校説明会 ・学習参観懇談① ・家庭訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式参観 ・PTA 総会学校説明会 ・第1回学校関係者評価委員会
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの支援委員会全体会 ・通知表検討委員会 ・学習参観懇談② ・運動会 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観懇談② ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会観覧
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育創造プロジェクト(学校評価の目的、体制の検討) ・懇談③ ・学校地域公開日 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団下校訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールゾーン実行委員会 ・懇談③ ・学校地域公開日(保護者アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校地域公開日参観
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表検討委員会 ・教育創造プロジェクト(評価計画、評価項目検討) ・個人懇談① ・職員会議(中間評価提案) ・中間評価アンケート配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・健康調査(5年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談①(学力テスト個人票配布) 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・教育創造プロジェクト(中間評価集約) ・学校評価全体会①(中間評価まとめ、児童実態調査手提案、授業アンケート提案) 			
後 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観懇談④ ・教育創造プロジェクト(児童アンケート、保護者学校評価アンケート内容検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト ・通知表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観懇談④(授業アンケート) 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育創造プロジェクト(児童アンケート、保護者学校評価アンケート内容検討) ・職員会議(保護者、児童アンケート提案) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生活実態調査 		<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 行事参観 ・第2回学校関係者評価委員会
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会 ・学習参観懇談⑤ ・教育創造プロジェクト(学校評価計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童学校評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会 ・学習参観懇談⑤ ・保護者学校評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会参観
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・教育創造プロジェクト(学校評価計画) ・職員会議(学校評価提案) ・評価アンケート配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・イチイ交流(百人一首大会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イチイ交流参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・イチイ交流参観
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育創造プロジェクト(学校評価集約) ・学校評価全体会 			
期	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価全体会 ・学習参観懇談⑥ ・職員会議(新年度計画) 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観懇談⑥ 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校報告説明会 ・懇談⑦ ・学校評価の公表(資料配布、ホームページ公開) 	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校報告説明会 ・懇談⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校報告説明会 ・第3回学校関係者評価委員会

IV 学校評価の方法

評価項目の重点化を図る

1 自己評価

(1) 項目の設定

本校では、実際の評価に当たっては、昨年度までの仔細に反省・評価をするだけではなく、本年度の学校経営方針の達成に向けて内容を精査し、項目を設定した。評価項目については、自己評価することで自分の学級や学年を子どもの姿を通して、「見直す、考え直す」ことにつながることを大切にしている。そのために、教育創造プロジェクトが全校の実態や課題を様々な面から見取り、課題に対する改善の方向を見通した評価のまとめを行うことが求められる。

また、運営上の問題点や課題は、評価を待つのではなく、各部、各委員会で実践を通じた検討を行い素早く対応し、職員会議や職員朝会で確認しながら解決していくことを前提として進めている。

《中間評価》

中間評価では、評価項目に基づいた教職員の評価を教育創造プロジェクトで集約した。学校評価全体会では、主に学級、学年経営にかかわる子どもたちの育ち（あいさつ、家庭学習の取組、のぞましい生活習慣の定着化）の改善をどのように図るかが大きな話合いのテーマとなり、後期に向けての共通認識を確認した。また、学年学級経営交流会では、中間評価を受け、本校における家庭学習の取組ませ方などを話題として話合いを行った。

《年度末評価》

中間評価と同じように、評価項目に対して4段階の評価を行い、A…4点、B…3点、C…2点、D…1点として平均を求めた。それぞれの平均点を自己評価の達成度として、中間評価との評価の推移を見ながら、教育創造プロジェクトが中心となって、反省を集約し次年度の改善の観点を提示していく。その中では、毎月の職員会議等で反省と次年度の方向性が見えている部分の重複は避け、1年間の流れや各部の連携などを重点に置いていくことを大切にしている。

(2) 効率的な外部アンケート等の実施

本校では、昨年度まで保護者アンケート、児童の生活実態調査を行ってきた。本年度から、教職員の評価との相違点を明らかに、学校評価の資料として客観性を高めるために、保護者、児童アンケートと評価項目の関連性をより深めたものに改めた。保護者アンケートでは、自由記述の欄を設け、記載された意見・感想・要望については資料としてまとめ、即応できるものには保護者に伝えたり年度末の評価に活用したりしている。

また、生活実態調査では、家庭生活での問題点や意識を把握するように調査項目を考え、継続的に見取る点と中間評価で課題となった点をより明らかにする項目などを追加しながら行っている。

6月の学校地域公開日では、授業中の様子だけでなく、休み時間や給食時間なども公開し、感想や様子を自由記述形式のアンケートで集約している。さらに、9月の参観日においては、授業内容の理解度や「聞く」「話す」の観点から自分の子どもをどのように見ているかのアンケートを実施している。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

児童の生活実態調査とアンケートについては、各担任が結果を集計し、教務担当者が項目ごとの統計処理を行った。保護者アンケートについては、教務担当者が結果集計、自由記述欄の把握を行った。各アンケートの集約の結果を横断的に検証し、改善の方向性を見出すために活用している。教職員の自己評価は教務が集約し、教育創造プロジェクトで分析し、各部で検討する内容や課題の方向性を示している。自己評価書は改善策の具体案を載せた4段階評価で作成している。

評価項目の関連性を深めるアンケート調査

(4) 改善策の検討

保護者の授業アンケート、学校評価のアンケートと教職員の自己評価の評価や改善策の意見を整理し、学校評価全体会で話し合いを行った。そこで出された反省と次年度への方向性を踏まえ、各部・各委員会で議論し共通理解を深めながら学校運営計画を策定した。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価の構成と役割

学校関係者評価委員会は、学校評議員4名、町内会長1名、教育ボランティア2名、PTA役員1名の8名で構成している。本校の子どもの実態や育ちを学校行事や日常の取組から見ていただける方々を中心に組織することを大切に考えた。

(2) 学校関係者評価を生かす取組

学校関係者評価委員会では、児童生活実態調査の結果や保護者アンケート、教職員の自己評価書を参考にしながら学校の現状や自己評価の内容を説明している。さらには、学校説明会、授業参観や地域公開日、児童集会、学校行事に来校していただきその都度、子どもたちの様子や育ち、教職員の姿を見ていただき意見を伺っている。

V 評価結果の公表

1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行っている。

- ・学校説明会、学校報告会での説明
- ・学校だよりの配布
- ・学校ホームページ

2 公表の効果

保護者に様々な場で評価や意見を受けるようになり、一人一人の職員が学校の教育活動に対する責任と自覚がより深まってきた。さらに、保護者の意見に対して即時的に丁寧な回答や行動をすることによって、保護者との信頼関係を構築することができた。

VI 成果と課題

〈成果〉

- ・今年度から学校関係者評価委員会を設置し、学校の経営方針や現状を広く家庭や地域に伝えることができた。
- ・学校経営方針から自己評価項目を設定したことで、これまで網羅的な傾向があった評価活動が焦点化された。
- ・教職員の思いや主観のみの校内評価から、保護者や地域からの評価も取り入れたことにより、課題がより明確になり、改善に向けた具体的な方策が出されるようになってきた。

〈課題〉

- ・今年度の重点目標を吟味し、評価項目のさらなる明確化をはかる。
- ・学校として組織的、継続的な改善を図るとともに、教師一人一人の学校運営への参画意識をさらに高めていくようにする。
- ・学校の取組や現状を理解してもらい、学校、家庭、地域が一体となり連携しながら子どもたちを育てていくという意識をより高めていく必要がある。

【参考文献】

- ・「学校評価の充実のための実践研究」集録 札幌市教育委員会

平成21年度 学校評価(保護者アンケート、児童アンケート)

	教職員自己評価項目	保護者アンケート	児童アンケート
重点・経営	「生きる力」をはぐくむ、「知育・徳育・体育」の調和のとれた教育課程の編成・実施・評価・改善がなされていたか。		
	子どもが心を開く学年・学級経営の充実がはかれていたか。	①お子さんは毎日楽しく学校に通っていますか。	①毎日楽しく学校に通っていますか。
	家庭や地域社会と連携し開かれた、信頼される学校づくりが行われていたか。	②学校にかかわるボランティア(読み聞かせ、フラワーロード、スクールガード、生け花等)の方々との活動は子どもたちの学習に役立っていますか。 ③学校は何かあった場合に相談したり、足を運んだりしやすいですか。	
学習指導・特活等	他と豊かなかかわりを高め、伝え合う確かな力を身につけるための授業が行われていたか。	④お子さんは、授業参観や地域公開日などで先生や友達の話をよく聞いていますか。 ⑤お子さんは、授業参観や学校地域公開日などで進んで発表していますか。	②勉強時間、先生や友達の話をよく聞いていますか。 ③勉強時間、進んで発表していますか。
	家庭学習の協力をよびかけ、自学自習の習慣が身につけてきているか。	⑥お子さんは自宅での学習(家庭学習や宿題など)に取り組んでいますか。	《生活実態調査から》
	多様な学習指導法を工夫し、わかる楽しさや喜びを味わわせることができたか。	⑦授業参観や学校地域公開日では、分かりやすく楽しい授業が行われていますか。	④勉強時間、みんなで話し合って考えることは楽しいですか。 ⑤勉強時間、自分で考えたり、作品を作ったりすることは楽しいですか。 ⑥勉強時間、みんなで体を動かしたり、歌ったりすることは楽しいですか。
	道徳の時間等を通して、道徳的な心情や実践力を身に付けさせることができたか。	⑧相手を思いやるやさしさや感謝の心が伝わるような行動や言葉が見られますか。	⑦学校のルールやきまりを守っていますか。 ⑧友達にやさしい気持ちで接していますか。 《生活実態調査から》
	学校生活の充実をめざし、協力し自主的に取り組む態度を育てることができたか。	⑨学校は、ねらいをはっきりさせて学校行事や学年行事などに取り組む、子どもを育てていますか。	⑨自分のめあてをもって運動会や学習発表会などの行事や委員会、クラブ活動に取り組んでいますか。
	本校の特色ある教育活動の充実に向けていたか。	⑩お子さんは、朝の読書活動やイチイ活動(異学年交流)、総合的な学習に意欲的に取り組んでいますか。	⑩朝の読書活動や全校一斉読み聞かせの時間は楽しいですか。 ⑪イチイ交流で違う学年の友だちを活動するのは楽しいですか。 ⑫総合的な学習や生活科でいろいろなボランティアや地域の方々と一緒に活動するのは楽しいですか。
			《生活実態調査から》
生徒指導	気持ちのよいあいさつや言葉遣いを身に付けさせることができたか。	⑪お子さんは、周囲の友だちや大人にあいさつをしたり、望ましい言葉遣いで話したりしていますか。	《生活実態調査から》
	望ましい生活習慣のリズム化を進め、定着を図ることができたか。	⑫お子さんは、朝食や夕食、起床時間・就寝時間など望ましい生活習慣を整えるようにしていますか。	《生活実態調査から》
	生活上の問題行動や事故に対して保護者と連携しながら素早く対応していたか。	⑬学校で起こった問題、事故や不審者に対して素早い対応がされましたか。	
	休み時間の遊びや体力測定、体育の授業などを通して、健康安全に対する意識を高めることができたか。	⑭お子さんは、風邪にかからないようにしたり、けがをしないようにしたり安全に気をつけて生活していますか。	《生活実態調査から》 ⑬けがや病気をしないよう気をつけて生活していますか。
教育環境	校舎の施設設備を教育実践の様々な場面で有効に活用することができたか。		
	あらゆる機会を通して、地域に向けて情報を発信することができたか。	⑮参観懇談、地域公開日、お便りやホームページ等を通して、本校の教育活動や必要な情報が伝えられていますか。	

生活実態調査

次の質問で、自分はこれだと思う答えの記号を、○でかこんでください。

1 朝、何時に起きますか。

【学校に行く日】

- ア. 6時ごろ
- イ. 6時30分ごろ
- ウ. 7時ごろ
- エ. 7時30分ごろ
- オ. 8時ごろ

【休みの日】

- ア. 6時ごろ
- イ. 6時30分ごろ
- ウ. 7時ごろ
- エ. 7時30分
- オ. 8時ごろ
- カ. 8時よりおそく

2 夜、何時に寝ますか。

【学校のある日】

- ア. 8時ごろ
- イ. 9時ごろ
- ウ. 10時ごろ
- エ. 11時ごろ
- オ. 11時よりおそく

【休みの日】

- ア. 8時ごろ
- イ. 9時ごろ
- ウ. 10時ごろ
- エ. 11時ごろ
- オ. 11時よりおそく

3 学校に行く日 朝食を食べますか。

- ア. 必ず食べる。
- イ. とときどき食べる。
- ウ. 食べない。

4 食べないとこたえた人に聞きます。どうして朝食を食べないのですか。

- ア. 食べたくない。
- イ. 時間がない。
- ウ. 太りたくない。
- エ. その他 ()

5 朝ごはんや晩ごはんのとき、きれいなものがでたらどうしますか。

- ア. のこさないで食べる。
- イ. 少しは食べる。
- ウ. 食べない。

6 毎日、何時テレビを見ていますか。

- ア. 0～30分
- イ. 30分以上
- ウ. 1時間以上
- エ. 2時間以上
- オ. 3時間以上
- カ. なし

7 毎日、何時間ゲームをしていますか。

- ア. 0～30分
- イ. 30分以上
- ウ. 1時間以上
- エ. 2時間以上
- オ. 3時間以上
- カ. なし

8 家庭学習をしますか。

- ア. 毎日する。
- イ. 時々する。
- ウ. ほとんどしない。

9 家庭学習は、何時間ぐらいしますか。

- ア. 0～15分
- イ. 15分～30分
- ウ. 30分～1時間
- エ. 1時間以上
- オ. なし

10 家庭学習では、どんなことをしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

- () 学校から出される宿題
- () 家庭学習ノートを作って漢字や計算の練習
- () 問題集や送られてくる教材
- () 読書
- () その他 ()

11 家でお手伝いをしていますか。

- ア. 毎日している
- イ. 時々している
- ウ. ほとんどしない。

12 お手伝いはどんなときにしますか。

- ア. 自分の決まった仕事している
- イ. 家の人に言われたときにする。
- ウ. 言われてもしないことがある

13 朝、先生に会ったら、「おはようございます。」を言いますか。

- ア. 自分から言う
- イ. 先生が言ってから言う
- ウ. あいさつしない。

14 朝、友達に会ったら、「おはようございます。」を言いますか。

- ア. 自分から言う
- イ. 友達が言ってから言う
- ウ. あいさつしない。

15 学校のどこで遊ぶことが多いですか。

- ア. グラウンド
- イ. 体育館
- ウ. 教室
- エ. その他 ()

16 どんな遊びが多いですか。

- ア. ボール遊び
- イ. おにごっこ
- ウ. 遊具
- エ. その他 ()

17 給食にきれいなものが出たらどうしますか。

- ア. のこさないで食べる。
- イ. 少しは食べる。
- ウ. 食べない。

18 掃除当番をどのようにやろうとしていますか。

- ア. 一生けんめいやろう
- イ. めんどくだけれど、仕事だからやろう。
- ウ. やりたくない

19 携帯電話をもっていますか。

- ア. もっている
- イ. もっていない

※ これからの質問は、携帯電話をもっていると答えた人だけが○をつけていってください。

20 携帯電話をどのように使っていますか。

- ア. 通話だけ
- イ. メールだけ
- ウ. 通話とメールの両方

※ これからの質問は、携帯電話をもっていると答えた人だけが○をつけていってください。

21 携帯電話はどのように使っていますか。

- ア. 通話だけ
- イ. メールだけ
- ウ. 通話とメールの両方

22 どれくらい使っていますか。

- ア. ほとんど毎日
- イ. 一週間に2～3日
- ウ. ほとんど使わない

23 携帯電話の使い方をおうちの人とルールを決めていますか。

- ア. 決めている
- イ. 決めていない
- ウ. 決めているが守っていない

24 使っていてこまったことがありますか。

- ア. ある
- イ. ない

25 24で困ったことがあると答えた人はだれに相談しますか。

- ア. 家族に相談する
- イ. 友達に相談する
- ウ. 先生に相談する。
- エ. だれにも相談しない。

授業アンケートのお願い

本日はお忙しい中、参観懇談にご来校いただきありがとうございます。今回、保護者の皆様から授業についてのアンケートをいただき、授業改善の参考にしていきたいと考えております。

つきましては、本日の授業アンケートにお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

- 《記入方法》
- ・ 1～4番 ABCの欄に○印を記入してください。
 - ・ 5番 ご意見ご感想を記述願います。
- ※お名前をご記入ください。
 ※お子さんのいる各学級でご記入願います。
 ※本日記入されて、各教室に用意してある封筒にお入れください。

A～おおむね良い B～ふつう C～改善が必要

		A	B	C
1	お子さんは、担任や友達の話の内容を考えながら聞いていましたか。			
2	お子さんは、作業やノートを取ることに集中して取り組んでいましたか。			
3	お子さんは、自分の考えをみんなに伝えようとしていましたか。			
4	お子さんは、生き生きと楽しく学習活動に参加していましたか。			
5	今日の学習(教材や資料等)についてご意見・ご感想があればお書きください。			

年 組 お名前

ご協力ありがとうございました